

shānběnyīnjí
山本音吉

shānběnyīnjí rìyǔjiǎmíng nián nián shǒumíngdìngjūxīn
山本音吉(日语假名:やまもと おときち, 1819年-1867年), 首名定居新

jiāpōderìběnrén yěshìshǒumínghuányóushìjièderìběnrén
加坡的日本人, 也是首名环游世界的日本人。

jiǎmíng shǒumíng dìngjū
假名: 仮名 (かな) 首名: 初めての名前 定居: 定住する

huányóu
环游: 周遊する

shānběnychūshēngyú nián rìběnàizhīxiànměibāngdīng suìdāngshàngle hǎiyuán yǒuyí cì
山本出生于1819年, 日本爱知县美浜町。14岁当上了海员。有一次,

tāchéngzuòde chuányù shàng dà fēng làng piāoliú le yī nián duō hòu dǐ dá běi měi zhōu hòu lái tā dào guò
他乘坐的船遇上大风浪, 漂流了一年多后抵达北美洲。后来, 他到过

yīngguó àomén hé shàng hǎi gōng zuò 1862 nián lái dào xīn jiā pō cóng shāng hái yǐn le běn dì nǚ zǐ wéi
英国、澳门和上海工作, 1862年来到新加坡从商, 还娶了本地女子为

qī shānběnyīnjí niánbìngshì sǐ hòu máizàng zài xīn jiā pō wǔ jí zhī mǎ jī dū jiào mào
妻。山本音吉在 1867年病逝, 死后埋葬在新加坡武吉知马基督教墓

yuán dāngshàng yǒuyí cì chéngzuò
园。 当上: ~なる 有一次: あるとき 乘坐: 乗り込む

yùshàng dǐdá hòulái àomén
遇上: 遭遇する 抵达: 到着する 后来: その後 澳门: マカオ

cóngshāng hái hǎi qū wǔjízhīmǎ
从商: 商売で 还: 更に 娶: 娶る 武吉知马: ブキッティマ

běnmíng shānběnyīnjí
本名: 山本音吉

biéchēng
别称: やまもと おときち

chūshēngshíjiān
出生时间: 1819

qùshìshíjiān
去世时间: 1867

biéchēng qùshì
别称: 別名 去世: 世を去る



fēnxiǎngdào fēnxiǎng
分享到... 分享：分け合う

rénshēngjīnglǐ jīnglǐ
人生经历 经历：経歴

nián wénzhèng nián wěizhāngguózhīduōjùnxiǎoyěpǔcūn xiànměibāngdīng chūshēng
1819年(文政2年)尾张国知多郡小野浦村(现美浜町)出生。

nián tiānbǎo nián chéngdāqiānshíchuán bǎoshùnwánxiàngjiānghù jīndōngjīng xíngshǐ yǔchéngzǔ
1832年(天保3年)乘搭千石船·宝顺丸向江户(今东京)行驶, 与乘组

yuánzàiyuǎnzhōutānchénchuán zàihǎishàngpiāoliú gèyuèhòu dàodáměiguóxīhǎiàn
员在远州滩沉船。在海上漂流14个月后, 到达美国西海岸。

chéngdā xíngshǐ yǔ chénchuán
乘搭：乗船する 行驶：運行する 与：～となる 沉船：沈没船となる

nián tiānbǎo nián jīngguò gèyuèdepiāoliúhòu jǐnsānrénshēngcún cǐsānrénwéiyīnjí
1834年(天保5年)经过14个月的漂流后, 仅三人生存, 此三人为音吉、

jiǔjíhéyánjí tāmendàodáměiguóhuáshèngdùnzhōu bìngzàidāngdìjiēshòuyīngyǔjiàoyù
久吉和岩吉, 他们到达美国华盛顿州, 并在当地接受英语教育。

jǐn wéi huáshèngdùnzhōu
仅：わずか 为：～である 华盛顿州：ワシントン州

bìng jiēshòu
并：そろって 接受：受ける

nián tiānbǎo nián zàiàoménwánchéngshìjìèdìyīběnrìběnyǔbǎnshèngjīngdefānyì
1835年(天保6年)在澳门完成世界第一本日语版圣经的翻译。

nián tiānbǎo nián chéngdāměiguóchúanzhīfǎnwǎngjìběn dāngshíměiguóchúanzhīzāodàomùfǔ
1837年(天保8年)乘搭美国船只返往日本, 当时美国船只遭到幕府

pào jī yīncǐqiánwǎngshànghǎidìngjū
炮击, 因此前往上海定居。

shèngjīng fānyì zhīfǎnwǎngjìběn
圣经：聖書 翻译：翻訳 只返往日本：日本へ帰ろうと

zhīzāodào pào jī qiánwǎng
只遭到：～の目に遭う 炮击：砲撃 前往：向かう

nián ānzhèngyuánnián rìyīnghéqīntiáoyuēdìjīeshí rěnyīngyǔhěrìběnyǔdefānyìyuán
1854年(安政元年)日英和亲条约缔结时, 任英语和日语的翻译员。

nián ānzhèng nián dīdàxīnjiāpō shìdìyīgèzàixīnjiāpōdìngjūderìběnrén
1862年(安政9年)抵达新加坡, 是第一个在新加坡定居的日本人。

rèn
任: 就く

nián yuánzhìyuán nián yóu yú rìběn de suǒguózhèngcè wú fǎ fǎnguó yīncǐ rù jī yīngguó
1864年(元治元年)由于日本的锁国政策, 无法返国, 因此入籍英国。

nián qīngyīng nián suì zài xīnjiā pō de shí qǐ nà qù shì shí qǐ nà yě shì shānběnyīn jī
1867年(庆应3年)49岁在新加坡的实乞纳去世, 实乞纳也是山本音吉
zài xīnjiā pō de zhù suǒ
在新加坡的住所。

yóu yú wú fǎ fǎnguó yīncǐ
由于: ~によって 无法返国: 帰国する方法が無い 因此: そのため

sǐ hòu shì jì xīnjiā pō rìběn rén xié huì zài nián shòu měi bīn dīng de dīng cháng zhāi téng hóng yī dīng
死后事迹 新加坡日本人协会在1994年受美滨町的町长斋藤宏一町
cháng suǒ tuō xié zhù xún zhǎo yīn jī zài xīnjiā pō de zú jì
长所托, 协助寻找音吉在新加坡的足迹。

shì jì suǒ tuō
事迹: 事実の痕跡 所托: (所+動詞で名詞句) 託するところ

xié zhù xún zhǎo zú jì
协助: 協力する 寻找: 探す 足迹: 足跡

yóu yú xīnjiā pō de wǔ jī zhī mǎ jī dū jiào fén mù yīn wéi shòu fā zhǎn jì huà yǐng xiǎng yǐ zài
由于新加坡的武吉知马基督教坟墓因为受发展计划影响, 已在1970
nián dài bèi qīng lǐ shānběnyīn jī de gǔ huī dāng nián wú rén rèn lǐng dāng jú yīncǐ bǎ tā zhuǎn yí dào cǎi
年代被清理。山本音吉的骨灰当年无人认领, 当局因此把它转移到蔡
cuò gǎng jī dū jiào fén chǎng
厝港基督教坟场。

jī dū jiào fén mù
基督教: キリスト教 (プロテスタント) 坟墓: 墓

jì huà yǐng xiǎng wéi jí yǐ qīng lǐ
计划: 計画 影響を及ぼす 已: すでに 清理: 整理する

gǔ huī dāng nián rèn lǐng
骨灰: 遺骨 当年: 当時 认领: 確認して引取る

zhuǎn yí cǎi cuò gǎng
转移: 移す 蔡厝港: チョアチューカン(シンガポールにある)

fén chǎng
坟场: 墓地

nián yuè xīnjiā pō rìběnrénxiéhuì hé xīnjiā pō huánjìng jú de hé lì xià zhǎodào le shān
2004年2月，新加坡日本人协会和新加坡环境局的合力下，找到了山

běnyīnjí de máizàngdì
本音吉的埋葬地。

huánjìng jú hé lì
环境局：環境局合力：力を合わせ

wéi jìniànshānběnyīnjí xīnjiā pō rìběnrénxiéhuìjiāngzài xīngqī liù nián yuè rì de xīn
为纪念山本音吉，新加坡日本人协会将在星期六2005年2月18日的新

jiā pō zhuāng yì dà yóuxíng lǐ chéngxiàn yǐ yīnjí wéizhǔ tí de gē wǔ biǎoyǎn tā de gǔ huī yě jiāng
加坡妆艺大游行里，呈献以音吉为主题的歌舞表演。他的骨灰也将

zài zhètiān cóng xīnjiā pō bèiyùn huí jiā xiāng
在这天，从新加坡被运回家乡——

zhuāng yì dà yóuxíng chéngxiàn
妆：化粧する（演出する） 艺大：芸術 游行：パレード 呈献：献

shàng zhètiān bèiyùn huí jiā xiāng
上する 这天：この日 被运回家乡：故郷に運ばれる

rìběn àizhixiànměibāngdīng zhídé yī tǐ de shì tā de gǔ huī jiāng bèi yī fēn wéi èr yī bàn gěi tā
日本爱知县美浜町。值得一提的是，他的骨灰将被一分为二，一半给他

zài rìběn de hòu rén bǎoliú lìng yī bàn zé liú zài xīnjiā pō cún fàng zài yáng yuán gǎng de rìběn rén gōng
在日本的后人保留，另一半则留在新加坡，存放在杨厝港的日本人公

mù nèi jì niàn tā zài shī chéng shēng huó de yī duàn lì shǐ
墓内，纪念他在狮城生活的一段历史。

zhídé yī tǐ yī fēn wéi èr hòu rén
值得一提：とくに言うべきだ 一分为二：二分割 后人：後世の人

bǎoliú lìng yī bàn zé
保留：保存する 另一半：別の半分 则：～すると共に

cún fàng yáng yuán gǎng
存放：預けておく 杨厝 港：ヨーチューカン（シンガポールにある）

shī chéng
狮城：シンガポール別名

山本音吉（乙吉）略歴(日本語説明)

音吉の肖像、1849年に中国から日本へ来航した際のもの漂流1819年（文政2年）尾張国知多郡小野浦（現愛知県知多郡美浜町）に生まれる。1832年（天保3年）10月、米や陶器を積んだ宝順丸（船頭樋口重右衛門）が江戸に向けて鳥羽に出航（乗組員船頭以下13名）したが、途中遠州沖で暴風に遭い難破・漂流した。14ヶ月の間、太平洋を彷徨った末、ようやく陸地に漂着したときには、生存者は音吉を含め岩吉（旧姓岩松・尾張国熱田出身）、久吉の3名（3名を「三吉」と呼んでいた）のみであった。残りの乗組員は壊血病などで亡くなった。

救助

アメリカ太平洋岸のオリンピック半島・フラッター岬付近にたどり着いた彼らは、現地のアメリカ・インディアン（マカー族）に救助される。

しかし、インディアンは彼らを善意で助けたわけではなく、後に奴隷としてこき使った。さらにはイギリス船に売り飛ばし、代わりに金物を得た。このイギリス船はハドソン湾会社の持船で、オレゴン・カントリーのアストリア砦（英語版）（現オレゴン州アストリア）に送られ、そこで少年時代のロナルド・マクドナルドと出会っている。3人を救助した情報はただちにロンドンへ届けられる。会社は費用を負担して3人をマカオ行き「ゼネラル・パーマー」号に乗せることにした。途中、ロンドンに着いた彼らはテムズ川で10日間の船上にとどまっていたが、許されて1日ロンドン見学を行っている。彼らがロンドンの地に最初に上陸した日本人であった（日本人として最初に世界一周をした若宮丸の津太夫ら4人がロンドンに寄航しているが、上陸は許されていなかったため、音吉ら3人が最初にイギリスへ上陸した日本人となる）。

帰国の失敗

1835年12月、パーマー号はマカオに着き、彼らはドイツ人宣教師チャールズ・ギュツラフに預けられる。そして音吉ら3人はチャールズ・ギュツラフと協力し、世界で最初の日本語訳聖書「ギュツラフ訳聖書」を完成させる。1837年3月、薩摩の漂流民である庄蔵、寿三郎、熊太郎、力松ら4人がマカオに届けられ、異国で同胞たちと対面した。同年6月、7人を乗せたイギリス船ローリー号は、マカオを出発し那覇まで至る。ここで彼らはモリソン号に移乗し、あらためて日本へ向かう。

7月30日、同船が三浦半島の城ヶ島の南方に達したとき、予期せぬ砲撃にさらされる。これがモリソン号事件である。当時、日本にはイギリスを始めとする外国船が頻繁に来航しており、これらの中には無許可での上陸や暴行事件を引き起こすものもあり、特にフェートン号事件以降、江戸幕府は異国船打払令を発令し、日本沿岸に接近する外国船は見つけ次第に砲撃して追い返すという強硬姿勢をとっていた。モリソン号もイギリスの軍艦と誤認されて砲撃されたのである。後にモリソン号は軍艦ではなく非武装の商船であり、さらに日本人漂流民をわざわざ送り届けに来たことが分かると、この事件に触発されて渡辺崋山、高野長英らが幕府の政策を批判する著書を記し、幕府によって逮捕される蛮社の獄が起こる。

なお、日本の鎖国政策によって祖国に戻れなくなった音吉であるが、彼自身は日本が武威をもって自らの政策を貫く姿勢を支持しており、その後、外国の武力を発端に起こった騒動によって開国に至った時は、これを「外国に屈した」と感じて憤慨したという。

上海での成功[編集]結局モリソン号は、通商はもとより漂流民たちの返還もできず、マカオに戻った。彼らは再びチャールズ・ギュッラフの元に預けられる。1838年（天保9年）アメリカ合衆国へ行く。

その後、音吉は上海へ渡り、阿片戦争に英国兵として従軍する。その後、デント商会（清名：宝順洋行、英名：Dent & Beale Company）に勤めた。同じ頃、同じデント商会に勤める英国人女性（名は不明）と最初の結婚をしている。この最初の妻との間には娘メアリーが生まれたが、娘は4歳9ヶ月で他界、妻もその後、他界している。このメアリーの墓は、晩年、音吉が住まいとしたシンガポールに残っている。

その後、1849年（嘉永2年）にイギリスの軍艦マリナー号で浦賀へ行く。この時は中国人「林阿多」と名乗った。1853年には、アメリカのペリー艦隊に同行予定だった日本人漂流民（仙太郎ら栄力丸船員）の脱走を手引きし、後に清国船で日本へと帰国させている。また、1854年9月にイギリス極東艦隊司令長官スターリングが長崎で日英交渉を開始したとき、再度来日し通訳を務めた。また、この時に福沢諭吉などと出会っている。この時、音吉には長崎奉行から帰国の誘いがあったが、既に上海で地盤を固めていた音吉は断っている。

その後、マレー人と再婚する。彼女もまたデント商会の社員であった。この2度目の妻との間には、一男二女をもうける。この頃、音吉の住む上海では、太平天国の乱などにより、混乱が始まりつつあった。

晩年

1862年（文久2年）はじめ、音吉は上海を離れてシンガポールへ移住し、その地で幕府の文久遣欧使節通訳の森山栄之助らに会っている。この使節団には福沢諭吉も参加しており、再会を果たす。音吉は清国の状況などを福沢たちに説明しており、これらの記録は福澤の著した「西航記」に残っている。1864年、日本人として初めてイギリスに帰化してジョン・マシュー・オトソンと名乗る。

1867年（慶応3年）、息子に自分の代わりに日本へ帰って欲しいとの遺言を残し、シンガポールにて病死した。享年49。日本の元号が「明治」になる1年前であった。息子のジョン・W・オトソンは1879年（明治12年）に日本に帰り、横浜で日本人女性と入籍許可を得て結婚、「山本音吉」を名乗った。しかし、念願の帰化は出来なかったようである。その頃の日本は、近代国家を目指して法整備が急ピッチで進められていたものの、帰化や国籍に関する法律はまだ無かったためである。国籍法が出来るのは1899年（明治32年）、法律第66号としてである。山本音吉はその後、妻子と共に台湾へ渡り、1926年8月に台北で死去している。

死後

音吉のシンガポールでの埋葬は後に記録が確認されるが、1970年に都市開発のため

め墓地全体が改葬されたことから、その後の搜索は難航した。2004 年になってようやく墓が発見され、遺骨の発掘に成功する。遺骨は茶毘に付されて日本人墓地公園に安置され、一部が翌 2005 年に音吉顕彰会会長で美浜町長（1991 年 - 2007 年）の斉藤宏一らの手によって、漂流から実に 173 年ぶりに、祖国日本に戻ることになる。現在、遺骨は美浜町の音吉の家の墓と、良参寺の宝順丸乗組員の墓に収められている。

家族

最初の妻は、マカオで宣教活動をしていたスコットランド人であった。2 番目の妻は、上海で同僚だったドイツ人とマレー人の混血のシンガポール人 Louisa Belder。子供は息子の John William Ottoson のほかに、娘が 3 人（Emily Louisa Ottoson は 4 歳で没）[1]。美浜町で妹の子孫が旅館を経営している。

顕彰（けんしょう）活動

(功績や善行などをたたえて広く世間に知らしめること)

音吉の出身地である美浜町では、音吉の功績を広く世界に知らせ、町の活性化を図ろうとした町おこしが行われている。

1961 年には音吉、岩吉、久吉ら 3 人の頌徳記念碑が美浜町に立てられ、以来同町と日本聖書協会は毎年、聖書和訳頌徳碑記念式典を行っている。同年行われた第 1 回目の式典には、当時のドイツ大使夫妻や愛知県知事桑原幹根、名古屋鉄道社長ら 300 人が参列した。1992 年には「にっぽん音吉トライアスロン in 知多美浜」が初開催され、音吉の顕彰事業が本格化した。音吉の人生を描いた音楽劇「にっぽん音吉物語」が翌年に同町で初公演され、以後シンガポールやアメリカ（ワシントン州、ハワイ州）、イギリス（ロンドン、バンガー）など音吉ゆかりの地でも公演される。2012 年 5 月には、音吉の生涯をモチーフにしたハリウッド映画が公開される予定。

引用：百度百科， Wikipedia（ウィキペディア）

編集、注釈：明壁浩信（2015/05/16）